

医事問題委員会

平成 28 年度 事 業 報 告

本委員会は、耳鼻咽喉科関係の医療事故ならびに紛争の判例を調査し、医療事故、紛争に関する知識と対応を研修し、また所属医師会、日耳鼻医賠償審査会と緊密な連絡をとって会員の立場を擁護し、正しい医療行為の実践されることを目標として、次の活動を行った。

1. 委員会を平成 28 年度 2 回開催した。

2. 第 41 回日耳鼻医事問題セミナーを平成 28 年 6 月 18・19 日、長崎県地方部会の担当（会長：高橋晴雄）で長崎市において開催。参加者 140 名。「長崎県地方部会医事問題アンケート調査結果報告」本川浩一氏、「臨床研究倫理指針—平成 27 年の改定を含めて」高橋晴雄氏、「安楽死と尊厳死—世界の現状と医療側の対応」釘宮敏定氏、「電子カルテ化による耳鼻咽喉科診療情報の変貌と今後の展望」工穰氏、「医療従事者が知っておきたい接遇・マナー～顧客の立場から」貞方三枝子氏、「最近の医療事故の動向」永岡亜也子氏らの講演と、ラウンドテーブル「医療事故調査制度の最近の動向」（1）「行政の立場から—医療事故調査制度の概要について」金子照慶氏、（2）「医療の立場から」栗原慎太郎氏、（3）「医療紛争に関わる弁護士の立場から」福岡博孝氏とパネルディスカッション「事例を通して」（事例紹介：本川浩一氏、パネリスト：塩飽志郎氏、宮崎泰司氏、金子賢一氏）ならびに委員会報告を行った。

3. 医事問題委員会ワークショップおよび全国会議の開催

平成 29 年 1 月 28 日に東海大学校友会館（東京都）において開催。テーマ：事例に学ぶ医事紛争。過去数年間の医療事故に関するアンケートの事例を分析し防止のための工夫の検討を行った。また医療事故に関するアンケート調査結果報告ならびに委員会報告を行った。

4. 「医事紛争とその問題点」32 巻を刊行した。

5. 勤務医師賠償責任保険を平成 28 年 10 月 1 日、所得補償保険・長期障害所得補償保険は平成 28 年 3 月 1 日に継続手続きを行った。平成 28 年 12 月末日現在加入者数は、勤務医師賠償責任保険 2,409、所得補償保険 61 名、長期障害所得補償保険 21 名。

6. 勤務医師賠償責任保険制度の適正な運営を図った。

7. 医事問題に関し調査・研究を行い、会員への周知を期した。

8. 医賠責審査会と連絡をとり、医事紛争の合理的解決に努めた。
9. 日本医療安全調査機構の調査分析事業に参画した。
10. 医療事故に関連して開催が推進されている大学病院・基幹病院の事故調査委員会に外部委員として協力した。